

今年度の学習状況調査結果から、県の課題としてとらえている設問を、次の観点で選択しました。これらの設問について自校の結果を設定通過率や県平均通過率と比較するなどし、補充的な指導を行い改善を図ってください。

- 【選択の観点】・過去の調査で本県の課題と捉え、継続して出題している類似問題
・次の学年以降での学習のために、年度内で定着させたい内容に関する問題
・新学習指導要領で求められている力に関する問題

■第4学年 国語

□通し番号(5)

◇評価規準

修飾と被修飾の関係について正しく理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査類似問題。平均が、H21は70.8であったが、今回は50.4となった。文節を二つ増やしての出題であるものの、県の経年課題といえる。

◇指導上の留意事項

文の成分や修飾・被修飾の関係について、取り上げて継続的に指導していくことが望まれる。

□通し番号(10)

◇評価規準

書く必要のある事柄を、収集したり選択したりして書いている。

目的に応じ、段落と段落の続き方に注意しながら、書こうとすることの中心を明確にして書いている。

◇県の状況

いわゆる「PISA型読解力」を要する問題で、県の共通問題となっている。今回は平均が58.8にとどまっており、指導する必要がある。

◇指導上の留意事項

いろいろなマスメディアを活用して、文章、絵、写真、グラフ、表などから必要な情報を読み取り、気付いたことや考えたことを表現し合う学習を意図的に取り入れていくことが望まれる。

■第4学年 算数

□通し番号(9)

◇評価規準

数直線上に示された大きい数を読み取ることができる。

◇県の状況

H21全国調査算数A[2](1)の類似問題（国の平均は64.1、県平均は67.0）。今年度の結果は設定通過率60.0に対して、平均が54.3である。

◇指導上の留意事項

数直線の一目盛りの大きさについて、確実に読み取ることができるようにすることが大切である。数直線上に示されている数値の間の数以外の数を読み取らせたり、ま

た、数値の間が5等分や20等分されている数直線を与えて目盛りを読ませたり、数を数直線上に表示させたりすることで習熟を図りたい。

□通し番号(20)

（全国調査B問題の趣旨を生かした問題）

◇評価規準

情報を読み取り、折れ線グラフに表した数量の変化の特徴を考える。

◇県の状況

H20全国調査B[5](2)の類似問題（国の平均は19.4、県の平均は24.3）。今年度の結果は設定通過率60.0に対して、平均が73.6である。

◇指導上の留意事項

折れ線グラフから数量を読み取るだけでなく、グラフの形状から分かることを発表し合ったり、その理由を説明したりする活動を取り入れるようにすること。また、情報から適するグラフを選ぶだけでなく、選択肢のグラフがそれぞれどんな状況を表しているのかを考えさせたい。

■第4学年 理科

□通し番号(2)

◇評価規準

虫眼鏡を適切に操作し、生物を観察することができる。

◇県の状況

H19学習状況調査(3)の類似問題。H19の平均が79.3であった。今年度の結果は、設定通過率75.0に対して、平均が59.8である。

◇指導上の留意事項

なぜその操作が必要かについて、ポイントを押さえながら実物を用いて指導する。また、一人一人が操作できる場と時間を学習過程に位置付けるとともに、活動をペアにして操作の仕方を相互に見合うことやパフォーマンステスト（観察・実験の技能を見取る）の実施などにより、操作技能の確実な習得を図る。

■第5学年 国語

□通し番号(8)

◇評価規準

修飾・被修飾の関係を理解している。

◇県の状況

H20・H21学習状況調査（4年生）の類似問題。平均はH20が45.9、H21が70.8であった。4、5年生の共通問題であるが、今年

度の結果は設定通過率70.0に対して、平均が34.4である。

◇指導上の留意事項

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項、中学年の(1)イ(キ)「修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと」と高学年の(1)イ(キ)「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」との連続性を十分に踏まえて指導を継続することが大切である。小学校段階で文節相互の関係について理解を定着させることが、言葉のきまりに関する事項の小・中の系統的な指導において大変重要である。

■第5学年 社会

□通し番号(14)

◇評価規準

漁獲量のグラフの変化の様子や傾向を適切に読み取っている。

◇県の状況

H21学習状況調査(14)の類似問題。H21の平均は88.4であった。今年度の結果は設定通過率65.0に対して、平均が53.1である。グラフの基本的な読み取りであるため、年度内で定着させたい。

◇指導上の留意事項

グラフを読み取る上で、全体の変化の傾向を見ることは重要な技能の一つである。「大漁期」、「激減期」、「回復期」等の時期に分け、その原因や背景を予想し、調査活動につなげたい。一つのグラフ内でも大まかな傾向に分けることによって、比較したり関連付けたりすることができる。

■第5学年 算数

□通し番号(12)

◇評価規準

小数の除法が用いられる場面を理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査(12)の類似問題(県平均は54.1)。今年度の結果は設定通過率70.0に対して、平均が51.5である。

◇指導上の留意事項

「基準にする大きさ」、「割合」、「割合に当たる大きさ」の関係を適切に読み取ることができるようにする。また、はじめに乗法の式に表してから除法で求めるという考えを用いることも大切である。

□通し番号(16)

◇評価規準

資料を読み取り、四則の混合した式や、()を用いた式について考える。

◇県の状況

H22全国調査B¹(2)の類似問題(国平均は42.7、県平均は55.0)。今年度の結果は設定通過率60.0に対して県平均が64.2である。

◇指導上の留意事項

四則混合や()のある式の計算が確実にできるようにする。また、()をつける

位置により、計算結果が異なることを確認する活動を取り入れ、計算の順序や決まりを理解できるようにすることも大切である。

■第5学年 理科

□通し番号(11)

◇評価規準

水の状態変化と名称について理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査(8)の類似問題。H21の平均が76.1であった。今年度の結果は、設定通過率70.0に対して、平均が64.7である。

◇指導上の留意事項

沸騰した水の中から出てくる泡の正体は何かを予想させてから、泡を冷やすなどして、泡が水の変化したものであることを捉えることができるようにする。その上で、水は熱せられると水蒸気になること、水蒸気は気体であることなどの水の状態変化と名称についての理解を図りたい。

□通し番号(20)

◇評価規準

気象情報を利用して天気の変化を予想することができる。

◇県の状況

H21学習状況調査(19)の類似問題。H21の平均が97.9であった。今年度の結果は、設定通過率75.0に対して、平均が69.8である。

◇指導上の留意事項

一日の雲の様子を観測したり、新聞やインターネット等の情報を積極的に活用したりして、雲の動きなどを調べ、天気の変化の規則性を捉えることができるようにする。また、気象情報を生活に活用する能力を育てることも大切にしたい。

■第6学年 国語

□通し番号(11)

◇評価規準

敬語について理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査、H22全国調査(中3)A¹⁰の類似問題。H21は平均が63.1、H22は、国の平均が52.8、県の平均が51.9であった。

◇指導上の留意事項

日常よく使われる敬語について掲示するなどして、生活の中で機会を捉えて活用を図り、身に付けさせるようにする。

□通し番号(18)

◇評価規準

情景描写などの表現に着目して読み味わっている。

◇県の状況

H22全国調査B²の類似問題。国の平均が73.3、県の平均が81.5であった。

◇指導上の留意事項

物語の叙述内容を要約する際、必要な要素は何かを確かめる。場面設定、中心となる人物とその他の人物との関係、場面の展開に沿って変化する行動や心情等に着目し

ながら読むことを意識させたい。その上で、粗筋を書く目的や字数などを明確にして、必要な要素を取り上げながら、簡単に書いたり詳しく書いたりできるようにする。

■第6学年 社会

□通し番号(3)

◇評価規準

様々な工業製品が国民生活を支えていることを具体的に調べることを通して、工業製品について理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査(3の類似問題。H21の平均は86.2であった。今年度の結果は設定通過率65.0に対して、平均が45.2である。

◇指導上の留意事項

工業製品は日本の工業生産の特色を理解するための基礎的な知識である。身の回りから工業製品を探す体験だけで終わらずに、工業製品の共通点から定義をまとめるなど、工業製品かそうでないかを識別できる力を付けたい。

□通し番号(17)

◇評価規準

鎌倉幕府を開いた武士について理解している。

◇県の状況

学習指導要領で重視されている歴史上の人物とその働きについて問う新問。今年度の結果は、設定通過率75.0に対して、平均が68.4である。

◇指導上の留意事項

平均通過率が設定通過率の±10以内ではあるが、H21学習状況調査の(14の人物名「行基」を答える設問の結果も58.4と低かった。歴史上の人物とはたらきについては、継続的に人物クイズを行ったり、人物年表や人物事典をつくるなどの表現活動を取り入れたりして習熟を図りたい。

■第6学年 算数

□通し番号(6)

◇評価規準

割合を求める場面において、除法が用いられることを理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査(6の類似問題(県平均は73.3)。今年度の結果は設定通過率70.0に対して、平均が45.1である。

◇指導上の留意点

倍を求める式の見つけ方を身に付け、立式ができるようにすること。また、公式や言葉だけでなく、基になる量に着目させ、数直線や図などを用いたり具体的な場面に当てはめたりして分かりやすくすることが

大切である。

□通し番号(20)

(全国調査B問題の出題趣旨を生かした問題)

◇評価規準

二つの数量の規則性をとらえ、数量の関係について反例をあげて説明することができる。

◇県の状況

根拠となる事柄を明らかにして論理的に説明することに課題がある。今年度の結果は設定通過率60.0に対して、平均が75.4である。

◇指導上の留意点

論理的に考えて説明することの指導においては、「正しいこと」を説明させることと「正しくないこと」を説明させることの指導のバランスを図る。説明をする前に、その事柄が正しいかどうかを確認する活動を取り入れたり、反例の意味やその用い方などについて指導する場面を設けたりして、「正しくないと考えた場合には、どのように説明すればよいのか」を理解できるように指導する必要がある。

■第6学年 理科

□通し番号(7)

◇評価規準

電磁石の強さと、電流の強さや導線の巻き数を関係付けて考えることができる。

◇県の状況

設定通過率80.0に対し、平均は69.0であった。

◇指導上の留意点

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させること、電磁石の強さを左右する要因を観察・実験の条件に沿って思考できるように発問を工夫し、考察及び表現の場の充実を図る。

□通し番号(12)

◇評価規準

じん臓の働きについて血液循環との関わりに基づき理解している。

◇県の状況

H21学習状況調査(12の類似問題。今年度の設定通過率70.0に対して、平均が49.7である。

◇指導上の留意点

映像や模型などを活用しながら実感を伴った理解の充実を図ること、また、排出について独立して捉えるのではなく、呼吸、消化、血液の循環等と相互の働きを関連付けて理解できるようにする。